

大阪南医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

麻酔導入時の筋弛緩薬投与後の効果発現までの時間とそれに関わる要因の検討を目的とした後ろ向き研究

[研究責任者] 麻酔科 石崎 剛

[研究の背景]

全身麻酔では、麻酔薬以外に筋弛緩薬と呼ばれる薬剤を使用します。筋弛緩薬の効果には個人差が存在します。日本麻酔科学会からも安全に手術・麻酔を行うため、全身麻酔中は筋弛緩状態をモニタリングすることが推奨されています。当院では、従来使用されてきた装置に代わるものとして次世代の筋弛緩モニターを使用しています。その特性を十分に生かし、装置を有効に活用するためには、測定方法やこれに関わる条件について情報を集積し、継続的に分析することが必要です。また、そのようにして得られた知見から個々の患者さんに合わせた筋弛緩薬の適正な投与法を見出すことを目指します。

[研究の目的]

通常、全身麻酔導入時には筋弛緩モニターでの筋弛緩モニタリング下で筋弛緩薬を投与し、筋弛緩薬の効果発現を確認後に挿管を行います。筋弛緩薬投与後、効果発現までの時間はそれぞれの患者様によって異なります。筋弛緩薬投与後、効果発現までの時間とそれにかかわる要因について日常診療で得られる情報を集積・分析し、評価することで、筋弛緩モニターの特性を十分に生かし装置を有効に活用し、安全な全身麻酔管理を目指すことを目的に本研究を行います。本研究により侵襲が加わることはなく、患者さんに不利益は伴いません。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

全身麻酔を受けられる患者さん

●研究期間：西暦 2022 年 4 月 1 日から西暦 2022 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報、全身麻酔中の筋弛緩モニター

検体：なし

カルテ情報：手術日、病名、手術術式、年齢、性別、身長、体重、既往症、ASA の重症度分類、血液検査結果 (AST・ALT・T-Bil・Crn・eGFR・HbA1c)、手術中の筋弛緩モニターから得られる測定値・校正値とその経時的変化、

全身麻酔中に使用した薬剤とその用量

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構大阪南医療センター

麻酔科 石崎 剛

電話 0721-53-5761 FAX 0721-53-8904